

## 国語分科会で今後取り組むべき課題として取り上げる事項（案）

○「国語に関するコミュニケーション上の課題（国語課題小委員会における審議経過の整理）」（令和4年3月8日）で挙げられた、今後取り組むべき課題の候補。

- 1 現行の内閣告示に関するもの
  - (1) ローマ字のつづり方に関する整理
  - (2) 外来語の表記に関する検討
  - (3) 常用漢字表の在り方に関する検討
- 2 新たなよりどころ・指針の作成について検討すべきもの
  - (1) 語彙に関する施策の検討
  - (2) 専門用語（外来語を含む。）の扱いに関する指針の検討
- 3 提言等を行うことについて検討すべきもの
  - (1) 言葉のふさわしさに関する考え方の整理
  - (2) 情報化社会における言語コミュニケーションの在り方
  - (3) 国際社会における日本語の在り方に関する再整理



○ 国語分科会で今後取り組むべき課題として取り上げる事項（案）

（表記に関する課題）

- 1 ローマ字のつづり方に関する整理 〈→今年度から検討を開始〉
  - ・ ローマ字のつづり方に関する調査を実施予定（令和5年度）
- 2 外来語の表記に関する整理
  - ・ 外来語の表記に関する調査を実施予定（令和5年度以降）

（語彙に関する課題）

- 3 語彙に関する施策の検討（常用漢字表の在り方に関する整理を含む。）
  - ・ 漢字出現頻度数調査(4)に基づき出現文字列頻度数調査を実施（令和4年度内）
- 4 専門用語（外来語を含む。）の扱いに関する指針の検討

（社会状況への対応）

- 5 国語に関する提言等を行うことについての検討